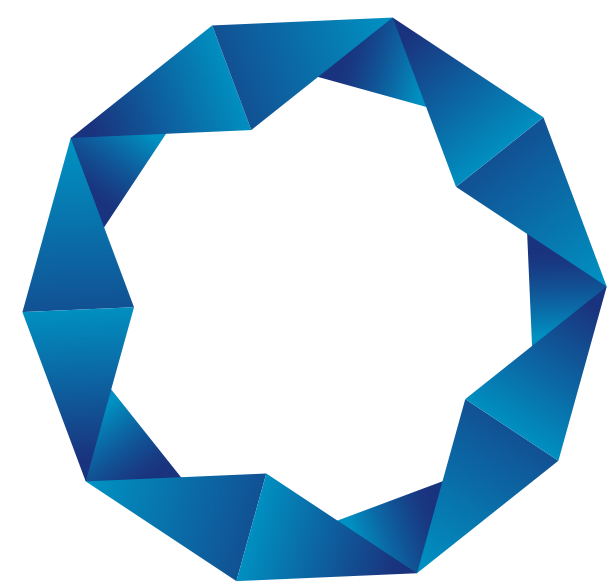




UMWELT

ノーコード予測AI 自動化ツール

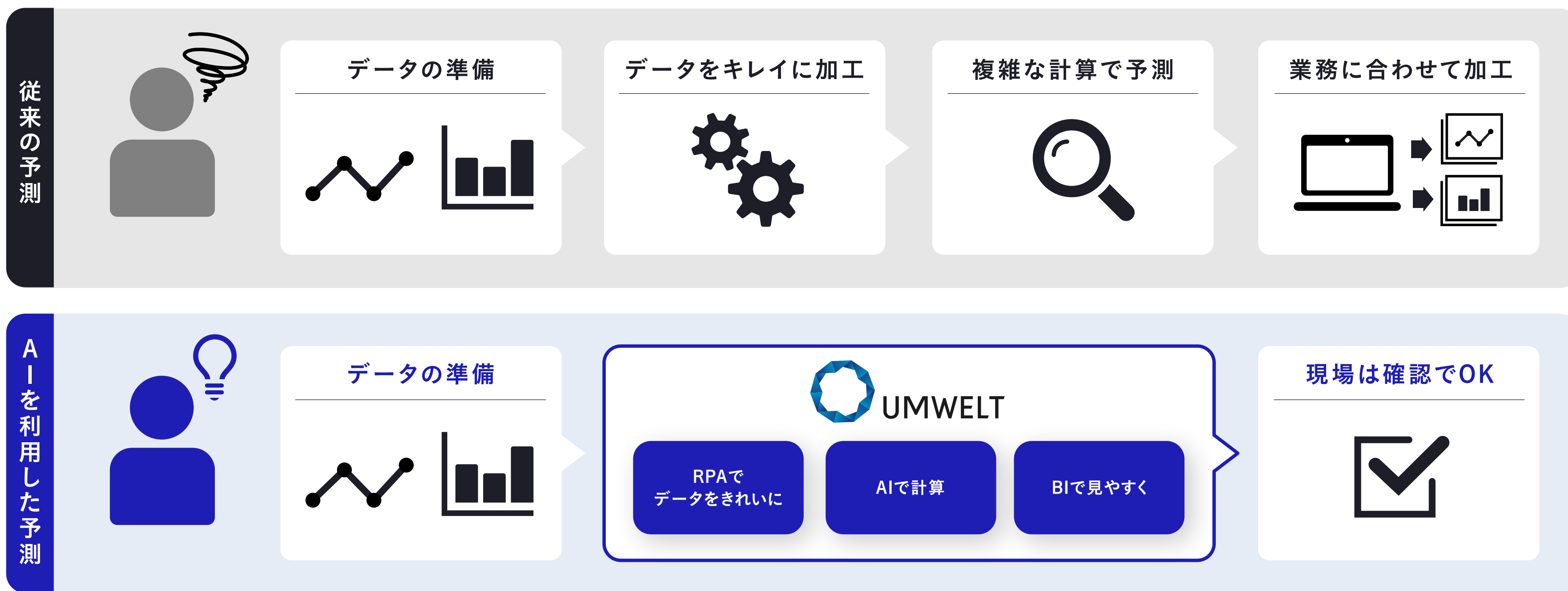
導入事例集

食品メーカー／製造業／物流事業／飲食業／レンタル業



UMWELTとは

UMWELTはデータ活用に必要な3種類の機能を搭載。データの前処理や機械学習、システム結合など開発することなく、組み合わせるだけでノーコードで利用可能。Excelが使える人材ならトレーニング後、簡単に開始できるツール。



› 時系列分析という手法で予測を実施

日付を起点にして機械学習を実施。過去実績から周期性や傾向など様々な要因を基に将来予測が可能に。

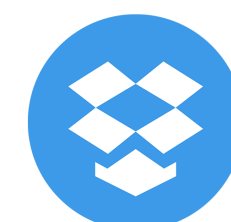
01 | 取込みたい CSVデータを準備

- 基幹システム
- 受発注システム
- 在庫管理システム

等から**CSVデータ**の
出力でOK!

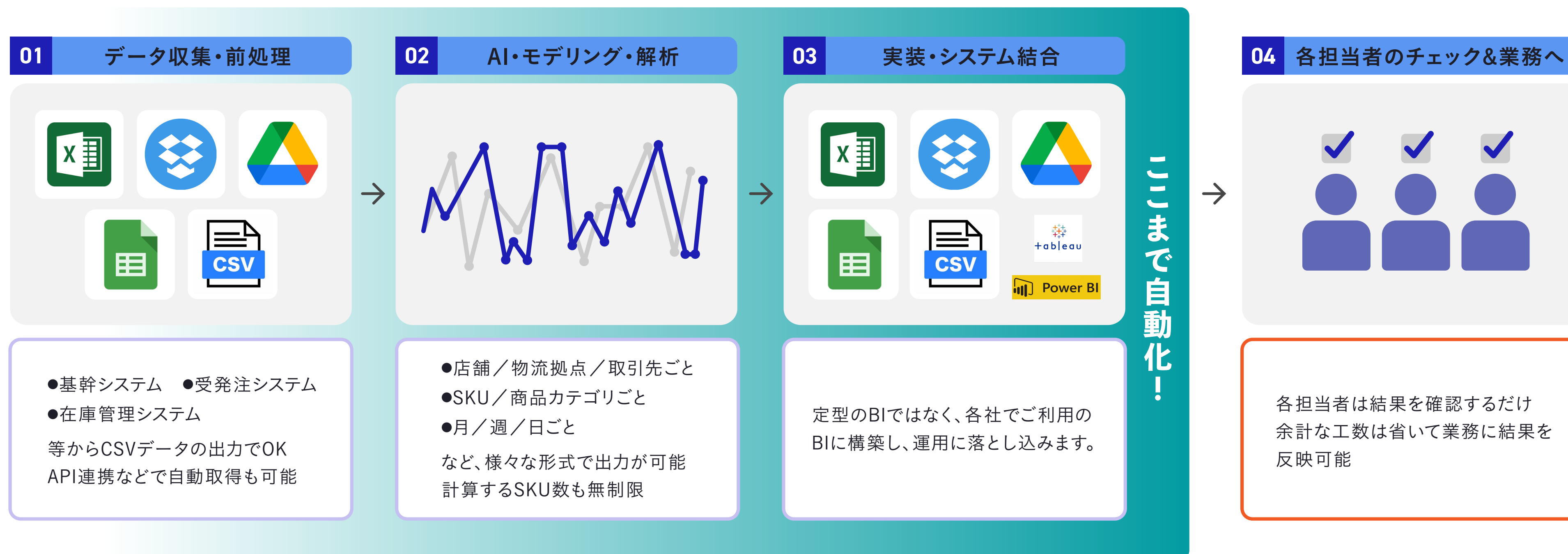
02 | 指定データをUMWELTが自動で取り込み 分析や機械学習などAI機能を実行

03 | 計算結果を列など指定した ファイルやBIの箇所に書き込み



実行した計算結果などをAPI連携で自社システム上各データに連携させたり、BI表示したり、様々なシステム連携が可能

サプライチェーンでのUMWELT/ユースケース



得られるメリット&ポイント

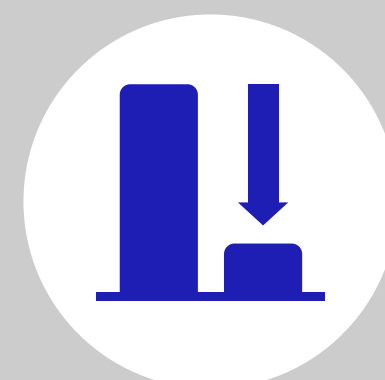
- 天候データも活用可能
- 既存手法と精度比較が可能
- 賞味期限があるものは適正化の効果大
- 重量がある/大きい商材も最適化の効果大
- 人件費削減、倉庫管理の削減



在庫適正化



生産計画への反映



予測工数の削減



食品ロス削減



物流コスト削減



キング醸造株式会社

業 種 調味料メーカー

従業員数 216名

キング醸造株式会社は、1900年に創業した調味料メーカー。
「日の出新味料」や「日の出料理酒」を製造販売しており、家庭用みりん風調味料・料理酒でトップシェアを獲得。



AIの導入を検討したきっかけは、当社では現場からの出荷予測をもとに生産計画を立てていますが、その出荷予測にばらつきがあり、これまで在庫過多や欠品が発生していたことが背景です。

精度検証では、指定された品目において、既存の手法で算出した予測値とUMWELTで算出した予測値を、実際に売れた数（実績値）と比較しました。その結果、UMWELTの予測値の精度が良いことがわかり、実運用において活用できそうだと判断しました。

また、社内には存在する基幹システムや受発注システムのデータのみで良い精度の予測結果が出てきたという点も本導入に至ったポイントのひとつです。アウトプットにおいても月間/週間など時間の単位を変更することが可能であること、出荷拠点ごとの出力が可能であること、原材料の予測など他部署への展開も可能であることなど、業務に合わせた柔軟な予測結果を得られるということも魅力的でした。



春日井製菓株式会社

業 種 製菓業

従業員数 556名

春日井製菓はキシリクリスタル、つぶグミなどの
飴・グミ・豆菓子を製造されているお菓子メーカー。

Kasugai

生産管理や在庫管理のために使用する需要予測の指標を現担当者しか出せないという課題があり、重要業務の属人化とそれに伴うハレーションの解消策を検討しているときに、UMWELTを知り、導入に至りました。これまでは予測業務の担当者が、過去の実績データや現場の勘をもとに予測数値を算出していました。既存手法と比較し、精度がAIの方が良いとご判断いただいた上でご導入いただきました。

サポート体制が充実しているため、3ヵ月で実際の業務に使用するモデルを作成できました。AIの知識が無かった新任の担当者様に予測業務の引継ぎを行う体制も上記のスピード感でできました。

UMWELTによって需要予測の知識や経験の有無に関わらず需要予測が出来るようになれば、様々な属人化のリスクも回避できます。ツールの導入によって他部署へ予測結果を展開するときも「現場の勘」ではなく「過去実績データからAIが算出した結果」といった形で展開できる点にも魅力を感じていました。



オルビス株式会社

業 種 化粧品

従業員数 1,136名

化粧品、栄養補助食品、ボディウェアの企画・開発
および通信販売・店舗販売。

ORBIS

化粧品を扱っているということで前提としてSKU数が多く、通販、実店舗、BtoB、海外事業とチャネルも多様だったため、SCM(サプライチェーンマネジメント)の複雑性はますます深刻化していました。

そんな環境の中で、省人化・効率化を進める必要があるため、AIで予測できるツールを探していたところTRYETEING社を知り、精度検証を行った際に既存のシステムよりも精度が良いことが分かり、本運用に至りました。

実際に使ってみた感想としては、ノーコードでシステムを組まない分、社内のデータ集めや整備に集中できます。

今年頭に出した店舗の需要予測では、工数最低限で良い結果を得ることができました。

通販の物流では、3PLのパートナー企業さんがいらっしゃったり、店舗の物流ではお店が100拠点以上あるため、管理すべきデータ量も多い中、計算結果を楽に、早く、欲しい形式で取得できる点は大きな魅力であると感じています。



アルプススチール株式会社

業 種 ロッカー製造

従業員数 175名

最終完成品までを作ることのできるトータルメーカーとして、オフィスをはじめ幅広い分野にオフィス施設用家具を展開する会社。

ORBIS

当社では営業を中心に、どの品番をいくつ作るかなどの製造に対するオーダーを作っています。それが営業的な勘と、過去の発注実績で行っており、非常にアナログ的なんです。精度も担当者によってまちまちの為、営業が今まで時間を取られていた、「何をいくつ作るか」ということに費やす時間を減らすことができます。

ですので、本来の営業業務に専念することが出来るというメリットがありますね。もともと弊社の営業からもこういった作業は煩雑で、その分営業に専念させてほしいという意見があったという経緯もあります。営業1人が担当しているわけではなく、4人で担当をしているため、10%×4というご理解で良いかと思います。

一できた時間は本来の営業というお仕事に費やしていきたいということですね。



株式会社ビーイング ホールディングス

業 種 物流コンサルティング業

従業員数 2,896名

ロジスティクスの未来を探究する総合物流輸送企業。



グループ全体で混載物流業、物流センター業、保険業、情報システム業、車両整備業などを展開し、顧客の物流戦略に合わせた効率化および合理化を視野に入れた物流システムを提案・運営しています。

UMWELTの導入を検討した背景としては、倉庫業務のシフトを組む上で、物量予測の精度にばらつきがあり、物流センターの収益にも影響が出ていることが課題として挙がっていたことがきっかけです。

精度検証にあたっては、課題が大きかった6拠点について実施しました。拠点別、月別、週別、商品種別、SKU別など予測の粒度を調整し、実際に業務で参考にしたい予測値を策定していきました。また、現在取り扱っていない品目や管理がイレギュラーな品目をどのように扱うかについても調整を行い、実運用のイメージを固めていきました。「UMWELT」では過去3年以上の実績データがあれば、1～2年先でも需要予測が可能です。日常業務で使用するExcelデータと連携することでCSVをAI化できるため、AIに関する専門知識が不要で、簡単な操作で予測業務を自動化できることに魅力を感じました。

飲食業でのUMWELT/ユースケース



得られるメリット&ポイント

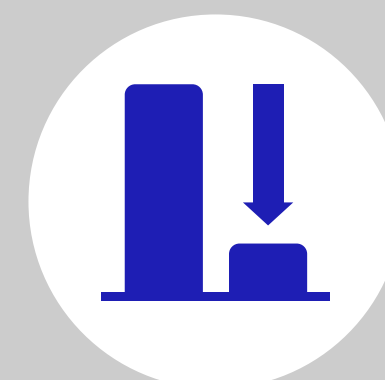
- 天候データも活用可能
- 既存手法と精度比較が可能
- 賞味期限があるものは適正化の効果大
- 繁閑に合わせて人員配置も可能



発注業務の工数削減



スタッフの最適配置



人件費削減



食品ロス削減



EC／通販の分析



スガキシステム株式会社

業 種 飲食業

従業員数 2,599名

東海地区を中心に、ラーメンと甘党の店「スガキヤ」のチェーン展開。

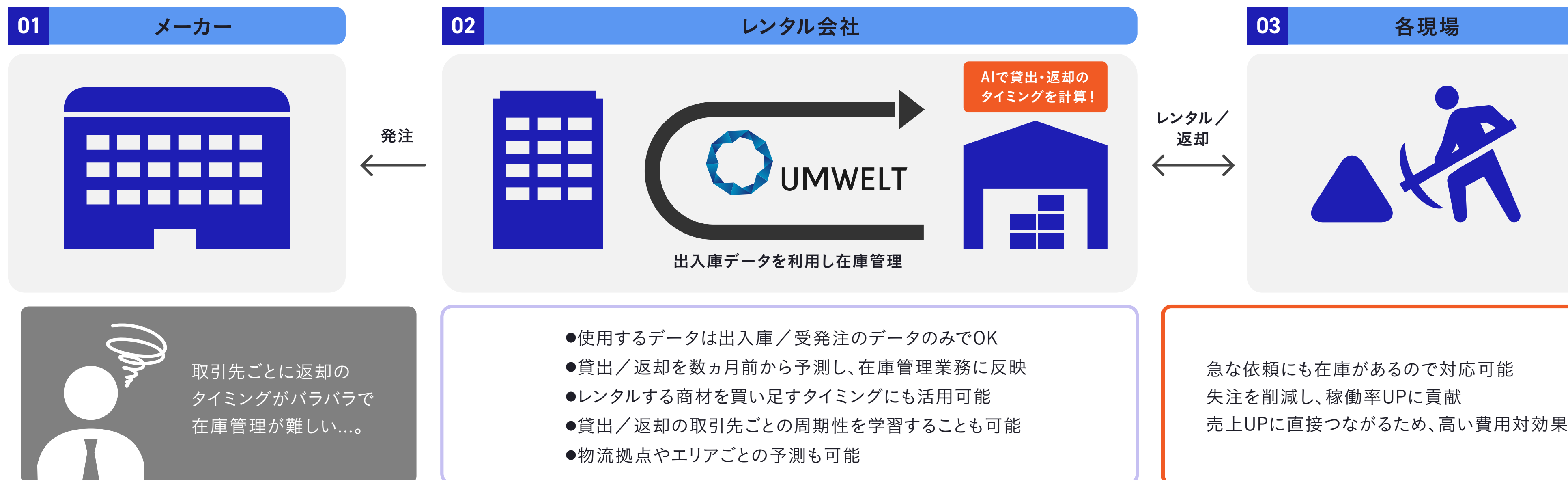
Sugakiya

もともと、DX推進に向けてAIを活用して現場の工数削減や食品ロスの削減が出来ないかとツールを探していたなか、同じく名古屋を拠点としているトライエッティングを知りました。

本導入に至った経緯としては、人間と同等以上の店舗売上予測結果が得られたことがまず挙げられます。従来の人間による売上予測の数値と、UMWELTでの予測の数値を比較したところ、UMWELTでの予測の精度が人間による予測と同等以上だと判断しました。既存データのみで予測ができることもありがたいポイントでしたね。

取り組み開始の段階では社内で実現したいことに対して必要なデータが揃っていない状態で、それらを1から収集するとなると、金銭的・時間的コストが膨大になってしまう恐れがありました。その際、準備の手間がかからない既存の社内データを活用した予測でも実現したいことに対してアプローチできるのではないかと実現可能な提案を受けられ、実際に良い精度の結果を得ることができました。

レンタル業でのUMWELT/ユースケース



得られるメリット&ポイント

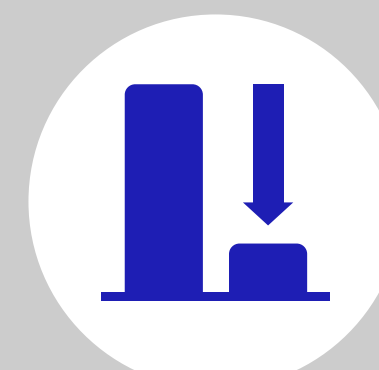
- 天候データも活用可能
- 賞味期限があるものは適正化の効果大
- 重量がある、大きい商材も最適化の効果大
- 人件費や倉庫管理費の削減



売上・稼働率UP



在庫最適化



予測工数削減



物流コスト削減



倉庫管理工数削減



株式会社ASNOVA

業 種 仮設足場レンタル業

従業員数 127名

くさび式足場を中心に仮設機材の「レンタル・販売」サービスを提供。

ASNOVA
明日の場という未来へ。

ASNOVA社は2022年6月時点で約92億円のレンタル資産を保有し、機材管理部では適切な在庫管理や受発注を行っています。

全国19拠点の機材センターと連携して、在庫を切らさないように、また余剰在庫を抱えないように適切な在庫管理を行う業務は特定の担当者にとって大きな負担となっていました。この業務をAIで自動化することで、品質管理や安全管理をより強化するための時間に充てていきたいと考えていたところ、UMWELTをご紹介いただきました。AIによってSKUごとに、貸出/返却のタイミングを事前に予測し、適切に在庫を持つことによって在庫切れの失注を防いでいます。

また、必要在庫を算出して、機材購入の判断材料としても活用しています。

需要予測により「必要な時に必要な機材を必要なエリア」で準備することができるため、お客様の需要に対して、より適切に対応ができるように日々業務改善を行っています。



株式会社ニシケン

業 種 福祉／介護レンタル業

従業員数 748名

昭和35年（1960年）に「建設機材レンタル会社」として創業。建設事業では、建設機械・仮設資材のレンタルを展開。福祉事業では、介護福祉用具のレンタル卸・販売卸を行い、介護する人・介護される人双方をサポート。



当社の事業はレンタル品の在庫の稼働率の向上は売上向上に大きく関わってくるため、必要在庫の予測値は重要な指標となっていました。予測業務はこれまで現場の社員が行っていましたが、かなりの工数がかかっている状況でした。工数削減に向けた取り組みを検討していた際に、同業種であるASNOVA社のUMWELTの導入事例を知り興味を持ったことが導入のきっかけでした。導入判断になった点は、人間の予測手法よりも予測結果が良い点です。

社内ニーズが大きかった福祉レンタルで効果検証を実施した結果、人間による予測結果とUMWELTによる予測を比較し、実際の運用に載せられると判断しました。

同業他社以外でも需要予測・在庫管理の案件が多いことも安心材料となりました。AIについてだけでなく、在庫管理についての知識もある方にサポートをいただけることに魅力を感じました。

導入コストは「定額」

- ✓ 従量課金なし、ユーザー課金なし
- ✓ 初期導入50万円でUMWELTのご利用及びAIの基礎に関する講習まで行います
- ✓ 月額60万円（年間契約で25%オフ）の利用料のみ
- ✓ サポートも月額35万円でBIの構築まで実施（完全コミコミサポートパック）





会 社 名	株式会社トライエッティング／TRYETING Inc. (名古屋大学発認定ベンチャー)
設 立	2016年6月6日
事 業 内 容	サプライチェーン領域における業務特化型拡張知能 (AI) 技術の研究開発およびライセンス販売事業
資 本 金	396,497千円
経 営 陣	代表取締役社長 CEO兼CRO 長江祐樹／取締役副社長 COO 菅沼美久／取締役副社長 CTO 竹島亮 社外取締役 和田浩一 (元三菱商事執行役員・中部支社長)／監査役 小川重彦／技術顧問 財満鎮明 (元名古屋大学副総長)
外 部 株 主	豊田合成、東急不動産ホールディングス (TFHD Open Innovation Program)、東海東京インベストメント、 あいぎん未来創造ファンド、日本材料技研、Sun Asterisk 他
本社所在地	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1-20-22 セントラル名古屋葵ビル 4階